

2025年11月17日  
障がい者グループホーム Kukka 幸田  
管理者 鬼頭理恵

## 議事録（第1回 地域連携推進会議）

日時 2025年11月15日（土） 10時00分～11時00分

場所 障がい者グループホーム Kukka 幸田 1階 リビング

参加者（構成員） 利用者：T様

利用者家族：S様

地域の関係者：幸田町民生委員児童委員協議会 副会長 I様

福祉に知見のある人：グループホーム ケアサポート幸田 施設長 S様

管理者 H様

当方スタッフ：統括 鈴木貴之

内容 地域連携推進会議の開催について

### 1. 地域連携推進会議の目的について

地域連携推進会議を開催する目的は、利用者と地域との関係構築、サービスの透明性・質の向上、利用者権利の保護です。特に、利用者と地域社会の接点を増やすことで、閉鎖的な運営を防ぎ、サービス品質を高める狙いがあります。

主に以下のとおりです。

- ① 地域との関係構築：利用者と地域住民の交流を促進し、相互理解を深める
- ② 透明性の確保：事業所の運営状況を地域や関係者に公開し、信頼性を高める
- ③ サービス品質の向上：外部の視点を取り入れ、支援内容や環境の改善を図る
- ④ 権利擁護について、利用者の意見を反映し、不適切な扱いや虐待を防止する

### 2. 事業所と地域との連携について

事業所が障害者に提供する障害福祉サービスに関する基本的な取組みをご説明しました。

また、以下の事項を確認しました。

- ① 近隣からの苦情等の共有：現状において、特になし
- ② 利用者の地域活動の紹介：最寄りコンビニやスーパーでの購買行動

地域主催の避難訓練への参加

※利用者：T様にも、実際の様子を話して頂いた。

構成員：I様から「12月の地域イベント：いも煮会」への参加のお誘いをいただいた。

構成員：S様からT様の行動範囲を聞いて、「共通する場所があるので、どこかですれ違っているかもしれないね。」と声掛けをいただいた。

### 3. 事業所としてのサービス提供の透明性・質の担保について

このような会議を通じ、皆様（地域連携推進員）が事業所や施設を訪問してくださることを通じ、皆様からの「視点からの気づき」等を通じ、サービス提供の透明性や質の担保を図ることが大切であると考えています。

特に、私たちが従来から実施している虐待防止研修等の研修や個別支援計画がうまくいっているかをご理解頂く良い機会であると考えております。

- ① 利用者の日常生活のご様子のご説明：当事業所のインスタグラム紹介
- ② 当事業所の利用者における自己負担金の支払状況のご報告：会計資料の共有
- ③ 事業所としてBCP（事業継続計画）の策定状況についてご説明：毎年11月に改訂  
→非常持ち出し袋や備蓄品の案内

### 4. 利用者の権利擁護について

障害福祉サービスを行ううえで、利用者の権利擁護を最も注意を払っております。

こうした中で、以下の事項を地域連携推進員の皆様にご説明しました。

- ① ・虐待防止の取組み：年1回の研修実施（今年度は11月実施予定）
  - ・事故状況の報告：直近の事例を共有
  - ・ヒヤリハットの報告：直近の事例を共有
- ② 支援状況や利用者の普段の様子の説明：資料配布

### 5. 今後、事業所として地域連携推進会議の開催予定

ア 地域連携推進会議は年1回以上開催：今回実施済。次回来年10月開催予定

イ 実施担当者：管理者を予定

### 6. 質疑応答

- ・構成員：H様から「週末はGHの中で過ごすことはできるのか？」との質問あり。  
T様より「過ごす事もできるが、外出の予定を立てて出掛けることが多い」と回答していた。
- ・構成員：S様から「1F利用者と2F利用者との交流はどの様なものか？」との質問あり。  
当方スタッフより「日々の食事の時やイベント時に一緒になることがある。特性の違いもあるが、1Fと2Fのそれぞれにコミュニティが出来つつあり、そのコミュニティ内での交流が中心となっている」と回答した。

### 7. 他住居（2階）の見学案内

参加者全員同行のもと見学を行った。

以上